

2021(13) 2/16 火

北海道新聞

支笏湖YH来月末閉館

宿泊者半減建物売却へ

【支笏湖畔】日本ユースホステル協会は、千歳市支笏湖温泉の支笏湖ユースホステル（YH）を3月末で閉館することを決めた。新型コロナウイルスの感染拡大で宿泊者が半減したため、建物は道内の民間企業に売却する方針。

支笏湖YHは、日本ユースホステル協会直営の全国第1号として1955年に開業。現在は同協会が建物

を所有し、運営を個人に委託している。

鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建ての新館（20室、定員108人）と倉庫や事務所として使っている木造2階建ての旧館があり、学生や工事関係者の利用が多いという。旧館は道内を代表する建築家田上義也（1899～1991年）が設計し、赤い三角屋根がシンボルマークとなっ

ている。

同協会などによると、年間宿泊者は1973年の2万1千人をピークに減少傾向にあり2019年は3千人、20年は新型コロナウイルスの影響で1500人まで減った。

同協会は「コロナの影響で経営が立ち行かなくなった」としている。

道内には、同協会が所有するユースホステルがほかに室蘭市、オホーツク管内佐呂間町と清水町の3カ所あり、いずれも現時点で閉館の予定はないとしている。

（三坂郁夫）



3月末で閉館する支笏湖ユースホステル